



# 石神井南中学校 学校だより

令和 元年度 第 6 号  
発行日 10月 29日(火)  
練馬区立石神井南中学校  
校長 田 邊 克 宣

## 「文化の育つ石南中」

校長 田邊 克宣

台風の影響に心の余裕をなくしているうちに、いつのまにか富士山も雪化粧を終え、秋の深まりを感じます。秋といえばスポーツ、読書、芸術、真っ先に思い浮かべるものも人それぞれでしょう。

19日(土)には、運動会と並び本校二大行事である「文化発表会」を、無事、開催することができました。その一週間前に、台風19号の接近から練馬区立の全小中学校が休業日となり、予定していた準備ができず、また、台風の通過経路によっては、実施どころか、大きな被害が生じていたかもしれないことを思うにつけ、今なお大変な後処理に追われている地域、方々が一刻も早く安堵できる日が来ることを心より願います。

さて、文化の祭典である本行事の発表は、実に素晴らしいものでした。

展示部門では、学習、行事、部活動、委員会、生徒会等々、学校生活での地道な取組が大きく実を結び、それぞれ実に見応え、読み応えのある作品が並びました。

各学年の取り組みでは、日頃、生徒たちが真剣に臨んでいることが、新聞やファイル等から容易に窺えました。また、教科の発表では、例えば1年生の国語で扱った歌碑探訪に、学びの広がりや深まりが見て取れました。和歌という古の文学教材が、教科書から飛び出して現代の空間につながり、時空を飛び越えた実体験となって子供たちの心にまかれたこの種が、やがて大人になったとき、どんな風に芽吹いているか、楽しみです。

色とりどり華やかな美術作品の数々には、緻密な技巧が駆使され、あるいは豊かな感性が光り、いずれも完成度の高さと、一つ一つにあふれる個性に、時間を忘れて見入ってしまうものばかりでした。

クラフト部の発表は、会場丸ごとが明確なコンセプトの下に飾り付けられ、見る者をして純粋に『楽しい』と感じさせる、まさに感性に訴える展示となっていました。

紙幅の関係上、全てに触れられないことが残念でなりません。

舞台発表では、海外派遣生の堂々とした報告に始まり、芸達者な役者のそろったユーモアあふれる劇に舌を巻き、終演後の裏方紹介には心温まる思いがしました。続く各学年の合唱がまた、特筆に値するものでした。1年生の沖縄戦、2年生のナガサキ、そして3年生のヒロシマと、歌詞に込められた深く、重く、大きな思いを、各学年が一団となってよく咀嚼し、その情景と共に聴く者の心に伝わる、感動的な合唱を披露してくれました。

午後の吹奏楽部の演奏がまた素晴らしく、すべて異なる曲調の全7曲が、まとまりのある、温かい音色となって会場一杯に響き渡り、大きな拍手をもって令和元年の文化発表会は幕を閉じました。

作品展示と、舞台発表を通して、生徒たちが充実した学校生活を送っていることが分かると共に、この日一日、生徒たちが、仲間と共に楽しい時間を共有できたことが、大きな収穫であったと思います。

この行事を通して、課題も見付かりました。それもまた教育活動の一環として、今後の子供たちの成長に向けて生かしていきたいと存じます。

今回、実行委員のメンバーは、文字通り走り回って頑張っていました。司会の生徒が、閉会式で最後の言葉を述べるまで、しっかりと見届けてくださった保護者の皆様に、心より深く御礼申し上げます。

# 文化発表会を終えて

文化発表会担当 工藤 悠

今年度は、「新時代の石南を豊かな個性で織りなそう」をスローガンに掲げ、令和初の文化発表会として、一人一人の豊かな個性をかけ合わせ、作品や発表を作り上げることを目指しました。

舞台発表の海外派遣報告では、オーストラリアでの留学生活や現地での体験を流暢な英語で楽しく発表し、会場を盛り上げていました。合唱は、1年生は「HEIWA の鐘」でアカペラに挑戦し、2年生は「ヒカリ」で壮大な曲想を表現し、3年生は「虹」でソロパートを取り入れるなど、それぞれの良さを生かしながら美しい歌声を響かせていました。演劇部は「幸福芝居」を上演し、キャラクターになりきって堂々と演じる姿に会場は度々大きな笑い声に包まれました。吹奏楽部は、今年話題となった「アラジン」などの楽曲を演奏し、振りや手拍子とともに会場が一体となって盛り上がり、時には美しい音色に聴き入りました。

展示発表は各教科や総合的な学習で行った調べ学習などのまとめや、専科で作成した作品を展示しました。上級生の作品を見ては、「すごい！」という驚きの声や、「自分もこんな作品を作れるようになりたい」と話しながら見学する生徒たちの姿が見られました。文化部の展示では、美術部のリアルで味わいのある食品サンプルが並び、クラフト部は「ふわふわ世界」をテーマに、淡い色や風船を使ってファンシーな世界を表現していました。授業とは一味違った魅力が詰まった作品の数々でした。そして、生徒会展示では、命について生徒会役員が伝えたいことを模造紙にまとめました。それぞれがしっかりと自分の考えをもっており、これからの活動にも注目です。また、PTA 展示や小学校作品展示もご協力いただきました。

文化発表会に向けて、文化発表会実行委員や合唱の指揮者・伴奏者、発表団体や文化部の生徒たちは、放課後遅くまで準備や練習、作品制作に取り組みました。彼らの陰ながらの努力も相まって、まさに、それぞれの個性が織りなす実りある文化発表会となりました。

